

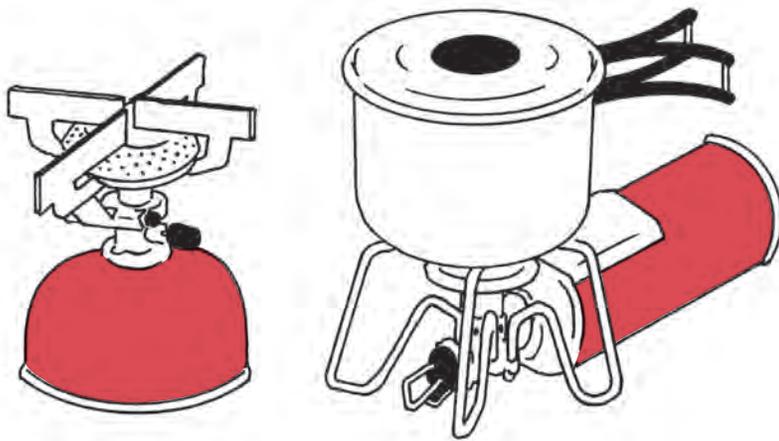


ご飯はなにをつくろうか、雨は降るだろうか。キャンプをしている自分をイメージしながら、必要なものを考える。もしも、持っていかどうか迷ったときは、「持っていく」を選んでみよう。

# PLANNING

## 計画と準備

どこへ行くか、だれと行くか。衣食住、それぞれに準備をしておこう。ゴミになってしまいうなものはあらかじめ持っていかないのも準備のうち。しかし、どんなに準備をしても相手は大自然、予定通りにいかないことも多い。なにより気持ちにゆとりを持つことが大切。



小型ストーブなどの火器類と銅。最低限このふたつさえあれば、素早くお湯を沸かせる。コーヒーを淹れてホットサンドの朝食、簡単な食事の準備だってOKだ。ただし、たとえ小型でもテント内での使用は厳禁！ 火事や一酸化炭素中毒の危険性がある。

💧 Consider the end sufficiently. First consider the end. —Leonardo da Vinci💧

十分に終わりのことを考えよ。まず最初に終わりを考慮せよ。 —レオナルド・ダ・ヴィンチ



キャンプに行くときは、手元を照らす灯りと雨をしのぐウェアをつねに持っている安心だ。灯りは、広く照らせる大型のランタンの他に、頭に着けるヘッドランプもあと両手を使って便利。雨具は寒いときには風を防ぐ防寒着にもなる。出番がなさそうなときでも、必ずスタンバイさせておこう。

## — CHECK LIST —

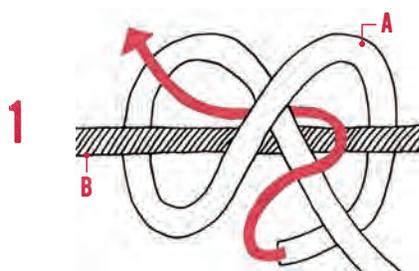
- テント
- マット
- 寝袋
- ライト類（ランタン）、ヘッドランプ
- 雨具
- 火器類（バーナー、焚き火台）
- 調理道具、皿、箸など
- 食材
- テーブル
- イス
- 着替え、防寒着
- 雨天時の靴
- ファーストエイドキット
- 保険証

2本のロープを  
つなぎたい

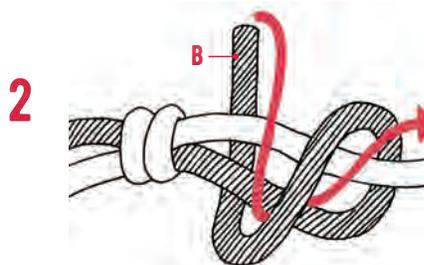
## DOUBLE FISHERMANS KNOT

### ダブルフィッシャーマンズノット

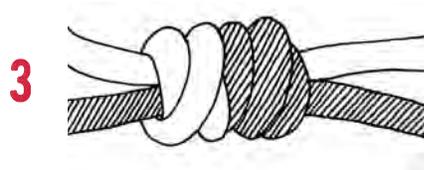
ロープ同士をつなぎ合わせたり、あるいは1本のロープの先端に結び目を作り、自在金具の代わりのようにも使うことができる。結び目は摩擦が利いているが、結び目を握れば動く。革紐のネックレスの結び目なんかにも使えるので覚えておくと便利だ。この結び方をするときは、ロープの太さと材質に注意しよう。ロープ自体が細すぎたり、つなぐロープ同士の径が異なると、結び目が抜けてうまく結べないことがある。素材によっても滑りやすいものもあるので、よくよく試してみよう。



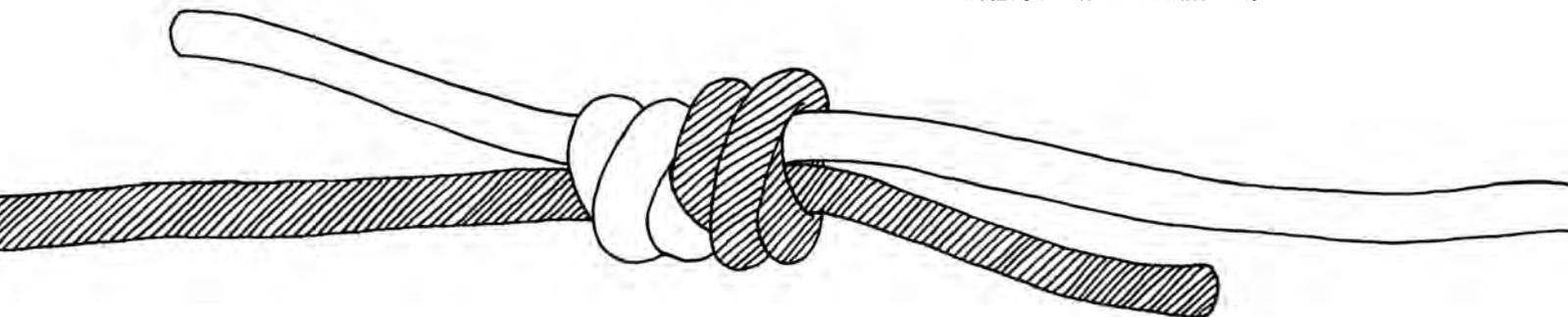
Bのロープの先端をAに巻くように2周し交差させX字を作り、その下をくぐらせ先端を輪の中に通す。



Aの末端を同じように2周させ輪をくぐらせる。このとき、左右を入れ替えるとやりやすい。



結び目を整え、X字が美しく並べば完成。末端ロープは、握り拳ひとつ分10cmほどは残しておく。



The accumulation of small efforts every day  
makes history!!



—DORAEMON

毎日の小さな努力の積み重ねが、歴史を作っていくんだよ!!

—ドラえもん

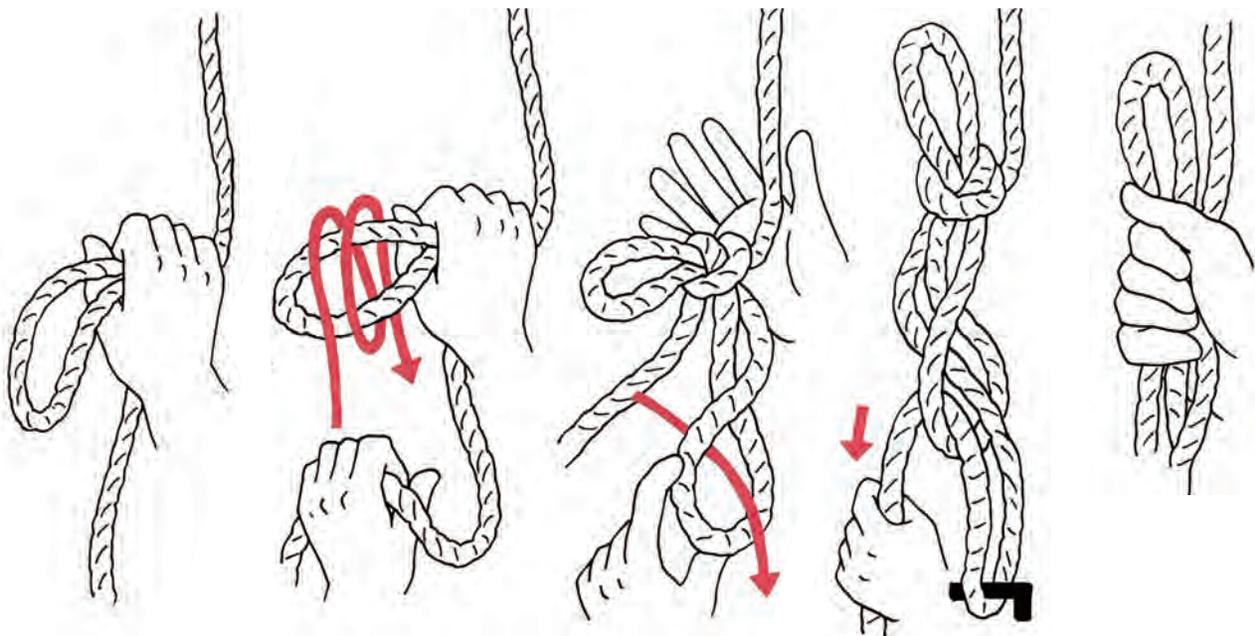


# TRUCKER'S HITCH

## トラックーズヒッチ

積み荷をロープで  
おさえない

名前のとおり、トラック運転手愛用の結び。積み荷をおさえるのに便利だ。ロープ自体に強いテンションをかけられるので、張り綱などさまざまな用途にも使える。ロープの末端を固定しないと、テンションが緩んでしまうので、最後はトートラインヒッチにするなど必ず末端処理をしておこう。



1

輪を作り右手で持つ。下に垂れているほうが末端。

2

輪に末端側のロープを2周巻きつける。

3

下側にできた輪を捻り、末端側のロープを通す。

4

ロープをフックなどにかけて末端側を強く引く。

ロープを引くときは結び目を右手で強く握る

# KiUと一緒に雨支度を楽しもう

Edit&Text/Tomoko Yanagisawa Illust/Yukari Kawanaka Design/Megumi Yamamoto

日本って雨が多いから、雨を表す言葉だけでも400以上はあるんだってね。『KiU』は、日照りが続いたあとの恵みの雨＝喜雨から名づけられたんだってね。自然と親しむ国なんだね。でも、親しむといってもさ。NACでも毎年だいたい雨が降って、びしょ濡れになって震えていたり、ぬかるみに足をとられて泥だらけになったり、準備不足でつらい目にあっている人をよく見かけるけれど……。何をを用意したらいいのかな？



必要なのは“頼れる”レインウェアですよ！しっかり水をはじくこと、むれないこと、使わないときはコンパクトになることがポイント。渋谷の「KiU」にはポンチョやレインジャケットをはじめ、ハット、長靴がそろっていますよ！



強い陽が差すときもあれば、冷雨のときもあって、天候がくるくる変わるNAC。どんな天候でもその場を楽しむ、をコンセプトにしたウェアブランド『KiU』で、準備をしよう！



KiU FLAGSHIP SHOP SHIBUYA

東京都渋谷区神宮前6-19-16 越一ビル1F  
03-5962-7085 11:00~20:00





KiUのベーシックポンチョからさらに防水性、通気性、耐久性がアップした3レイヤー布地使用。高い耐水圧と透湿性を保持。楽しい柄で雨に負けない! キウレインポンチョ (マイティー) ¥7200

花でカモフラ柄! KiUらしい遊び心あるテキスタイルのバッグは、500mlペットボトルもしっかり入る大容量。内面もポケットがあり使いやすい。ウォータープルーフボディバッグ ¥2700



はっ水防水・UVカット生地使用、晴雨OKのバックルハットがひとつあれば安心。ユニセックスなテキスタイルだから男女兼用も。UV&RAIN バックルバケットハット ¥2300

## ENJOY RAINDAY!



ダブルファスナー仕様で気温に合わせて通気調整も簡単。背面脇のファスナーでザックを背負ったままジャケットが着られる、まさかのデザイン。街でも使えます! 2wayストレッチマルチファンクショナルレインジャケット (マイティー) ¥14000



ザックを背負ったままでも楽々着脱ができるよう、ファスナー裏の前立てはボタン付きのフルジップ仕様。袖めくり用ベルトを使えば半袖にも。キウレインポンチョ ¥4300



止水ファスナー採用のサコッシュは、ゆるさあふれるレオパード柄! 内面はチケット、貴重品入れに便利なファスナー付きメッシュポケット&キーカラビナ装着。ウォータープルーフサコッシュWジッパー ¥2300

KiUのレインウェアは、防水性・通気性・耐久性に優れた素材を使い、フード部分はツバ付き・ハイネック仕様にして顔まわりもしっかりカバー♥ スタッフバッグもつきますよ。



くるくる丸めて持ち運びもラクな長靴。履き口のドロコードで水の侵入を防ぐ。足が疲れにくい低反発素材の中敷き使用! 通気性もよし。バックルレインブーツ ¥5400



06-6693-2065 (代表)

## HANAREGUMI × DAISUKE

聞いてきた音楽や体験してきたことが、  
やっぱり近いのかな  
同い年ってのものあって、共感するよね

## ハナレグミ (永積崇)

■1997年SUPER BUTTER DOG でデビュー。2002年夏よりバンドと併行して、ハナレグミ名義でソロ活動をスタート。NACのステージでは、「舞台袖で屈強な男達がみな涙する」(濱田さん)という日本一の切な声の持ち主。  
<http://www.hanaregumi.jp/>

## コーヒースタンドという場所に流れる音楽

— まず、おふたりの出会いからお聞きたいと思います。

永積 いつだろう。気がついたら知り合いになっていたから。Little Nap COFFEE STANDにはよく行っていたんですね。知り合いのデザイナーの事務所が STANDのすぐ近くだったこともあって。

濱田 ギタリストの石井マサユキさんがハナレグミのツアーに参加している時があって、ライブの後に紹介してもらいました。

— おふたりは、音楽の話もするのですか。

永積 今、どんな音楽がおもしろいのか、僕がすごく聞きますね。濱ちゃんは、最近の新しい音楽も古い音楽もボーダーレスに聞いているから。

濱田 基本的には、どんな音楽もフラットに聞くようにしていますね。お店でかかっている音楽を、気にしてくれる人もいないじゃないですか。「これ、誰？」みたいな話も多いんです。

永積 アメリカやヨーロッパに行くと、街のコーヒー屋さんに人が集まっている光景によく出くわすんです。Little Napに来るようになって、その意味がよくわかるようになったんですね。ふらっと立ち寄って、イメージをチェンジしてまた自分の仕事場なり家に戻

濱田大介

# HAMADA

歌とコーヒー。それぞれの役割で、  
NACという空間に彩りと癒しをプラスしてきたふたり。  
参加するひとりひとりが物語の主演であれば、  
さりげなくサポートする名脇役なのかもしれない。

text\_Takashi Kikuchi photo\_Yusuke Kitamura

濱田大介

■『Little Nap COFFEE STAND』『Little Nap COFFEE ROASTERS』オーナーバリスタ。イタリア各地を旅して、エスプレッソを初めて口にするとともにバール文化に触れる。そのあとすぐにバリスタとして活動開始。

